

「福祉の仕事」出前講座

宮崎市立住吉中学校

2年生 212名

日時：令和3年6月17日（木）

場所：宮崎市立住吉中学校 2年生教室

講師：特別養護老人ホーム住之江 中村 誠 氏（介護福祉士）

ひなたほいくえん 国部 明日香 氏（保育士・幼稚園教諭）

ひなたほいくえん 吉岐 真穂実 氏（保育士・幼稚園教諭）

宮崎福祉医療カレッジ 花内 茉由 氏（社会福祉士）

宮崎リハビリテーション学院 馬場 義行 氏（理学療法士）

一般社団法人一路会 押川 奉史 氏（精神保健福祉士）



じんザイクン

住吉中学校は、あらかじめ5つの福祉のお仕事のうち3つを生徒のみなさんに選んでおいてもらい、教室を移動して講師の先生のお話を聞きに行く形式になりました。先生・生徒さんの気配りで、大人数でしたが、移動も時間通りで素晴らしかったです。

介護福祉士の中村先生は、高齢者施設の種類やその中で様々な福祉の資格を持った職員が専門性を発揮してチームワークで利用者さんを支援していることを教えていただきました。

保育士の国部先生、吉岐先生は生徒さんたちと年齢も近く、たくさんの園児さんの活動写真とともに、最新設備や活動の準備、配慮などを解説していただきました。

社会福祉士の花内先生は、相談業務について、事例問題を考えながら、1つの相談には課題が重複していて、たくさんの人で支援をする時の心がけ等について教えていただきました。

理学療法士の馬場先生は、生徒さんたちが活動をしたり、リハビリテーションの動画を観たりして、理学療法について理解ができるように構成されていました。

精神保健福祉士の押川先生は、DPAT（災害派遣精神医療チーム）の一員として活動をされている様子をご紹介いただき、地域の医療現場だけでなく、障がい者、触法者の方の社会復帰支援など精神保健の幅広い分野についてお話していただきました。

